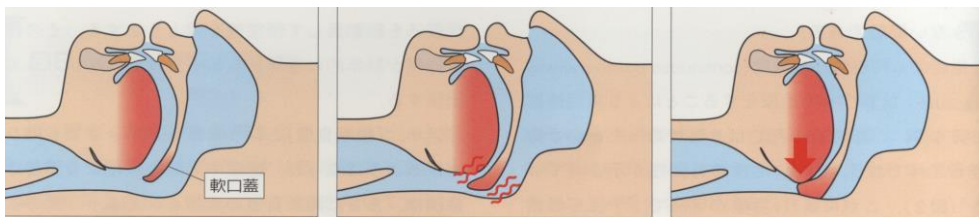


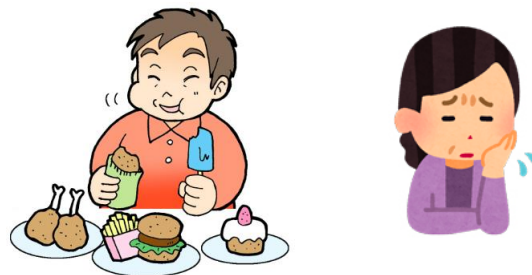
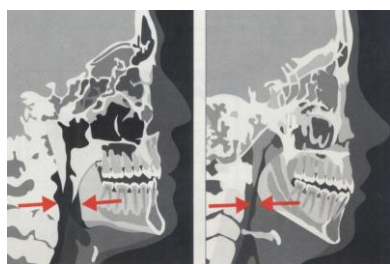
## 睡眠時無呼吸症候群

あなたは、イビキをかきませんか？ 睡眠時無呼吸症をご存知ですか？

口笛は、大きく唇を開いた状態では出せません。唇を狭めて音が出せるように、イビキも気道が狭まると、気流が増し、より軟口蓋も振動して、音（イビキ）が出ます。

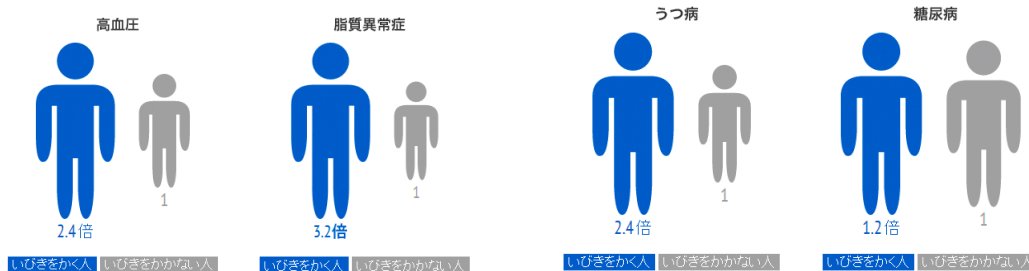
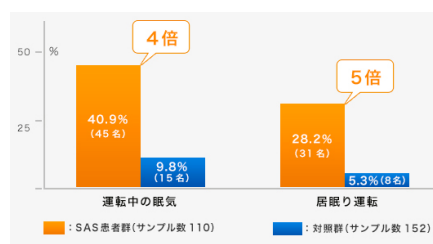


アジア人の骨格は欧米人に比べ前後的に細く、咽頭腔が狭い傾向にあります。そして、肥満の方や閉経後の女性は無呼吸になりやすいです。



睡眠中に呼吸をしていないため、亡くなることはありませんが、疲労が取れにくく、昼間の居眠りにつながります。

また、  
 高血圧、不整脈、  
 脂質異常症、心疾患、  
 うつ病、逆流性食道炎、  
 糖尿病などの合併症があります。

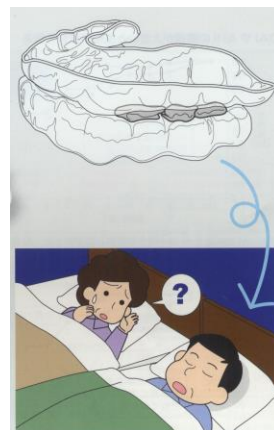


その治療法として重度の第一選択肢として CPAP (持続性陽圧呼吸器) があり、閉鎖した気道を空気の圧力で広げ、呼吸を助ける装置になります。また、中度軽度であれば、口腔内装置 (oral appliance) という選択になります。

CPAP は、保険適応の範囲があり、一泊入院しての終夜睡眠ポリソムノグラフィー検査にて無呼吸程呼吸指数 20 以上、または簡易検査では無呼吸程呼吸指数 40 以上が適応範囲になります。

(耳鼻咽喉科にて)

また、CPAP は外泊の際には、持ち運びが困難で、特に海外への移動は不可能になります。



その解決法として、SICAT OPTI スリーブという口腔内装置があります。

特徴として上下に装置が入りますが、下顎が動かせるため、保険の装置より違和感が少なくなります。さらに、CT にて気道の広がりを確認して作製します。作製はドイツにて行います。費用 20 万円 (税別) 保険外

